

## テレビと幼児の遊び

笠井久子

私の園では今年の五月テレビ十七時を設

置いたしました。目的は、テレビのある家

庭の子どもの遊びが、だんだんに変化して

いくのが日一日と保育面で感じさせられ、教師に質問しても答が出来ないし、テレビの批判も聞きますから、幼稚園でも取り入れ、見せることになりました。

幼児の目の高さ・位置、受信機(17時)の画面の対角線の長さは5倍——10倍が見や

すいから、受信機の前より2メートル——センチに最前列に坐らせ、前列の児童が坐つている児童の頭が視界からさまたげないように互いにずらして坐らせました。

へやは少々暗いへやを選びました。  
目の悪いものは注意して後方におきまし

た。

第一日は桃太郎の人形劇でしたが、始めて見る子どもの顔はいきいきとして、おもしろい時は皆手をうち、足までバタバタとしてとてもそうぞうしく、すぐその場でそれにとけこんでいることがわかりました。

月水金に園児全體が十一時前から先生のまわりに来て、テストパタンから見るようになりました。

変ってきたこととして、非常に荒っぽい子どもが小さい子どもとよく遊ぶようになつた(男子)ことがあげられます。

グルーブで砂場に穴を掘り板切れや棒でオートバイを造り穴の中に腰かけて運転手のまねをしたり、すべり台に繩をかけた山

のぼり遊びでは、いつも四、五人の男子から十数人となるのです。このように遊びの興味がテレビの影響をうけてきていると思われました。自由保育でも創造力がはつきりついてきました。

リズム遊びでは今までのように汽車、電車ごつごなどの表現をするにしても手だけまわす単純なものではなく、機関車の部分と

か人が乗れる所、お客様など、数名で組んで立体的に作るようになりました。また飛行機は同じく両手を開いてブ……足をスベルようにして早く進んでいたのが、「僕らデュエット機だよ」と言つてテレビでみた形の表現をし、仲よしグループが幾組も出来たり、運動場でしたりすることなどは今までには見なかつた面です。

これによつてひとり足りない時、あまり運動をしない(独占欲のみの)子が、思わずグルーブの中に入つて同じ行動をするようになつたことは、大きな収穫でした。また親指姫人形劇の後はお嫁さんごっこが始まり、キッスしようとか誰さんがしたよとか

言つて走つて来ます。その時は、「あれはネ、外国の御挨拶よ、だから日本では」と申し、あまりさわがないよう注意します。で、どんなものを家庭では好むか、父母は、幼児は、とテレビのある家について調査いたしました。二十こ余りを対象にしましたが、結果は次のようでした。

子どもは	家庭では
1. 6時のマンガ……8	1. お笑い三人組…4
2. スーパーマン……3	2. 名犬ラッキー…3
3. おとらさん……4	3. バス通り裏…3
4. かっぱ天国……3	4. スーパーマン…4
5. 名犬リンチンチン 2	5. はてな劇場…3
6. 月光カメン……全員	6. ゼスチャラー…2

遊びでも「月光仮面」などは、自由遊びの時、お面をこしらえ、他の子どももまねし、幾人かの子どもがそれに熱中しま

す。「くらまでんぐ」では、やはり、鬼の面を造る子、自分の洋服をぬいでスッポリかむり、手だけズボンにつっこみ、足元もあやしく歩いて来るのは思わず、教師はふき出しほどです。しばらくは注意せずに、ソレッとしておいて見守つてやりますが、あまり弱い子を中心といじめるようになつたら、くらまでんぐは、いい人でしたネ」で人物を変らせます。

また、すもうの時期には、塩をまいたり幾度も四肢をふみ直し、テレビさらがらの腰前などは、以前には「ハッケヨイ、ノコッタノコッタ」と、すぐとっくみ合いをしていましたが、こんなに変ってきたこと、これらも、いつまでもほっておけず、適当な時に「お休み」と言ってやめさせます。

月光仮面では、とてもはげしくなつて、タタタタとまどから飛び乗り・飛び降りが、始まりますと「どちらがサタンの爪ね（悪者）」と言つたらよします。

幼稚園でテレビのリズム遊びなどは、それによくとけ込んで、自分の体が動き始めたり

した時、指導せずに、後日自然に表われるのに、適当に処理し全体をまとめる方法も、よろしいと思いますが、家で見たテレビの影響は、この種の遊びは大もてだからと言つて放任したりしないで、そのうちにあきればしなくなるのは当然ですが、のんびり、なげやりの気持ではと反省しながら

一、この遊びは、いつ頃やりだしたか

一、この遊びの中での、子どもたちはどんな経験をしているのか、

一、これを好んでする子どもの特徴はどんなものか、について考えます。

日常保育しているうちに観察していくば、よい面や悪い面について、その望ましい指導の方法は、必ずあると思います。

教師は放送内容を考え、また児童により多くのものをつかませようと期待したら、却つてそぐ結果があることを意識して、新しい次ぎの世代に生きる子どもたちが、より文化的に、より幸福に、生活出来るように努力してこの保育の道にすすみたいと思ひます。

(久留米幼稚園)